



全ては子どもたちのために

壁面に掲示してご活用ください

共に歩まん

令和4年2月16日発行

第28号

長野県中信教育事務所

←過去の「共に歩まん」はこちら



シリーズ『すぐに使えるICT』社会科 ～筑摩小学校 小林先生の授業から～

小学校 第5学年「自動車をつくる工業」

育成を目指す資質・能力（思考力、判断力、表現力等）

- ・自動車の製造の工程，工場相互の協力関係，優れた技術などに着目して，問いを見出し，自動車生産に関わる人々の工夫や努力を捉え，その働きを考え表現している。

資質・能力を育成するためのICT活用のポイント

- ・自分で気付いた組み立て工場で見られる工夫を，付箋ツール（ジャムボード）を用いて分類したり，関連付けたりしながら同時共同編集することで視覚化され，対話的な授業展開が期待できます。

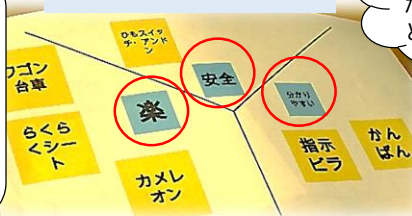
授業の様子から

学習問題：組み立て工場での工夫は，どのように役立っているのだろう。



Aさんの発言から，分類して見出しをつけることで，どのように役立っているかが分かりそうだね。

自分の考えをまとめる

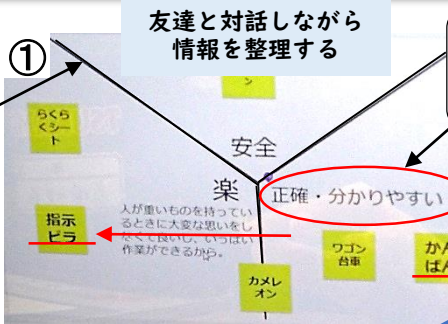


私はかんばんを「わかりやすい」って分類したけれど，みんなはどう分けたのかな？



学習課題：どのように役立っているかを考えるために，個人の考えをもとにグループで分類して見出しをつけよう。

①のポイント
工場にあるものを分類するための線で区切ることで，分類する視点が明確になります。



かんばんは，見出しに，「正確」を加えて，指示ピラは働く人が楽になるから，「楽」にはいるかな。

指示ピラが「楽」に入るとは考えなかったな。

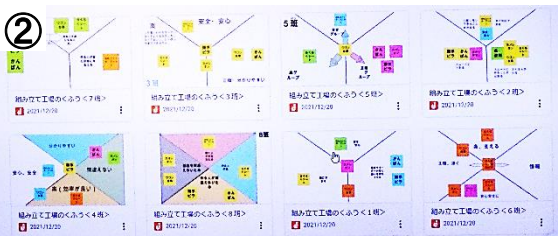
他の班はどういう分け方や見出しをつけたのかな？



異なる視点から情報を共有する

様々な情報を関連付ける

②のポイント
ドライブにある一覧を見せたり，班のスライドを拡大したりすることで，様々な考え方が瞬時に共有できます。



③のポイント
共有したことをもとに，班の考え方のよさを黒板に位置付けます。



まずは，学習問題に対する予想や解決の見通しなど「自分の考え」をまとめる場面を単元展開に位置付けることが大切だよ。その一人一人がもつ考えをICTを活用して同時共同編集することで，短い時間で効率的に考えを共有して，対話する時間をしっかりとれるよ。さらに，先生がICTを用いて共有したことや考えのよさを位置づけることがICTの活用では重要だよ。

